

「最後の保育実習で大切にしたいこと、そして・・・」 同朋大学(2009/7)

明照保育園 園長 中島 章裕 (隊長)

Q:「現代の子どもたちの成長にとって欠けているものってなに？」

(
) が苦手? →なぜ?

原因:

Q:「人間の白目はどうしてあるの?」

「人間は生まれてからの数年間で自分が生きていく環境に心身を合わせる」

- ・赤ちゃんは、当初、英語の“R”と“L”の違いも、人間の顔だけではなく、猿の顔の違いも分かる
- ・お兄ちゃんやお姉ちゃんが2人いれば、アレルギー体質になる確率は半分。
- ・実際に機能する汗腺の数も、3才までに決まる。
- ・人間に近い猿の仲間では、じゃれつき遊びのような経験が少ない猿は、仲間との情緒的社会的な関係が上手く作れ
なくなるという報告がある。

* この頃の脳科学の発達で赤ちゃんの脳についても多くのことが分かってきた。

誕生から爆発的に増え続けてきたニューロンの数が8ヶ月を過ぎる頃に一度減り始める。

これは、自分に必要なものを取捨選択する為で、日本語に必要な“R”と“L”の違いや日常生活に必要な猿の

顔の区別は分からなくなる。この期間は、自分の生きていく環境に対しての必要度などを考えながら整理整頓し

ていく時期。

* よって3才までに赤ちゃんがどんな環境で育つかが大切になってくる。

「三つ子の魂百まで」は、本当だった!

Q:もし3才までお母さんと二人で抗菌グッズに囲まれた冷暖房の部屋ばかりにいたら・・・?

「ラベリング効果」(その人を評価する時に、貼られたレッテルで評価してしまう)

親も先生も大人もラバルを張りたがる。なぜ? →

Q:愛情ってなに? (今の親は愛情が足りない?)

- ・親は意外と自分の子どもの良いところが見えない(近すぎるから見えないこともある)

Q:もともと日本人はどんな子育てをしてきたのか?

- ・みんなで育てた。「親はなくても子は育つ」←それだけ社会に子育て力があったということ